

審議会・小委員会での意見対応表（基本理念）

(参考1)

[illegible]

審議会・小委員会での意見対応表（基本目標）

（参考１）

基本目標	素案の記載内容	審議会・小委員会での意見、キーワード	意見の出典
はぐくみ - 将来にわたって「ひと」が育つまち -	少子化が進行し、年少人口が減少する中で、地域の未来を支える「ひと」の育成が重要です。子どもや若者が健やかに成長し、年齢にかかわらず学び続けられる環境を整えるとともに、育った人材が地域社会やまちづくりに主体的に参画していくことが持続可能な社会の実現に向けて重要です。 「ひと」の育成には、子どもの権利を尊重し、妊娠期から子育て期まで、子どもと家庭を包括的に支える切れ目のない支援が必要です。また、学校教育や生涯学習を充実させることにより、個々の能力と可能性を最大限に引き出す環境を整えることが求められています。 このような観点から取組を進めることにより、未来の荒川区で、地域を支える「ひと」が育ち、持続可能なまちづくりが実現されることを目指します。	・「何歳になっても」「誰でも」「何回でも学びなおせる」	第2回審議会
		・一生涯にわたって	第2回審議会
		・地域に若者が参加するまち	第2小委員会
		・「ひと」が育ち、育った人がまちづくりに関わり、持続可能なまちを実現する	第2回審議会
		・一人ひとりの個性を認める教育	第2小委員会
ささえあい - みんなが支え合い、生きがいをもって過ごせるまち -	今後、高齢化がさらに進行していくことが予想される中で、地域におけるつながりを基盤として、誰もが安心して暮らし続けられる社会の実現が求められます。 年齢や障害の有無に関係なく、誰もが孤立することなく、協力し合う社会の実現が重要であり、そのためには、きめ細やかな福祉サービスの提供や医療体制の整備、全ての人が相互理解と尊重をもって健康で自分らしく暮らせる環境を整えることが求められます。 このような観点から取組を進めることにより、人と人とのつながりの中で支え合いながら、生きがいをもって過ごせる地域社会を実現します。	・誰もが大切にされ、自分らしく輝くまち	第2回審議会
		・ずっと住み続けたいまち	第2小委員会
		・安心して歳を重ねられるまち	第2小委員会
		・人と人がつながるやさしいまち	第2小委員会
		・孤立しない	第2小委員会
		・いきがい	第2小委員会
		・ケアしあう	第2小委員会
		・つながり	第2小委員会
		・支え合いで育むまち	第2小委員会
		・自分らしさを発揮できるまち	第2小委員会
にぎわい - 人情・産業・文化が息づくにぎわいのまち -	少子高齢化と人口減少が進む中、人手不足の深刻化や原材料費・エネルギーコストの高騰が企業経営に影響を及ぼしています。また、伝統技術や商店の後継者不足が加速する一方で、訪日外国人客によるニーズの変化も見られ、社会経済情勢は目まぐるしく変化しています。このような状況に対して、柔軟かつ機動的な対応が求められています。 地域に根ざした伝統や文化、人情味あふれる地域コミュニティ、町工場、商店街、繊維街、銭湯などは荒川区独自の魅力であり、まちに賑わいと活力をもたらす重要な地域資源です。人と人とのつながりと強固な地域コミュニティを核としながら、これらの地域資源を十分に活かした、地域の持続的な発展に向けた取組が必要です。 このような観点から取組を進めることにより、地域の伝統や文化の保全と継承、産業・観光振興によるにぎわいと交流の創出、住民力の強化を図り、活気に満ちた「荒川区らしさ」が溢れる魅力あるまちを実現します。	・保全と継承が重要	第2回審議会
		・銭湯も重要であるが、繊維街も重要	第2回審議会
		・文化・芸術、既存産業と新産業を大切に地域に魅力を維持するまち	第1小委員会
		・にぎわいの空間の形成	第1小委員会
		・荒川区らしさが適材適所で発揮され、地域住民の荒川区への誇りと愛着が醸成されている	第1小委員会
やすらぎ - 安全安心で快適に暮らせるまち -	気候変動の進行と自然災害の激甚化、都市インフラや住宅の老朽化、治安の確保といった課題に対処するため、区民の生命と生活の安全を確保するとともに、快適な暮らしの基盤整備が重要です。 持続可能なまちづくりを実現するためには、災害に強い都市基盤の整備に加え、地域の安全・安心を確保するための包括的な防災・防犯対策が必要です。また、自然環境の保全や緑の拡充を進めることで、住みやすい環境を創出し、地域の魅力と生活の質を向上させる必要があります。 このような観点から取組を進めることにより、地域の各主体が連携した防災・防犯体制の強化、災害に強い都市基盤の整備、緑化の推進や環境負荷の軽減を実現し、安全・安心で快適かつ持続可能な都市環境を築いていきます。	・公園整備に関する記載がない	第2回審議会
		・火災・地震・水害に強い	第1小委員会
		・災害リスクへの対応	第1小委員会
		・犯罪の変化にも対応できている	第1小委員会
		・荒川区らしい、やさしく心地よい環境が育っている	第1小委員会
		・自然が守られている	第1小委員会
		・区民高齢化とマンションの老朽化の2つの古い	第1小委員会

審議会・小委員会での意見対応表（政策）

（参考１）

基本目標	政策	種別	素案の記載内容	審議会・小委員会でのご意見、キーワード	意見の出典
はぐくみ - 将来にわたって「ひと」が育つまち -	子育て - 全ての子どもが健やかに成長できる環境づくり -	目指す姿	地域全体で子育てを支え、子どもが健やかに育ち、親が安心して子育てできる、「子育てしたいと思えるまち」が実現しています。	子ども親も笑っている	第2小委員会
		政策の方向性	子どもが安心して居場所づくり、興味・関心を持てるきっかけづくり、挑戦できる施設整備を行います。	荒川区のみなさんに支えてもらっている実感が持てる	第2小委員会
				幸せの芽が育つ、こころ弾む、共働する、子どもの興味関心が育つ環境づくり	第2小委員会
				夢中になって行動	第2小委員会
		政策の方向性	働く親や保護者が子育てに喜びを感じられるよう、子育て世帯の就労支援や相談できる場づくり等、親や保護者の心に寄り添う取組を推進します	まちなかに子どもの居場所がたくさんある	第2小委員会
				清潔感のある安心して遊びに没頭できる場所（プレイパークなど）	第2小委員会
				子育てのための住む場所の支援	第2小委員会
		政策の方向性	子どもの権利を尊重し、地域一体となって一人ひとりの子どもに必要なサポートや後押しを提供します。	働きながら子育てできるまち	第2小委員会
				子どもの権利	第2小委員会 第2小委員会
				データと現場の声をリアルタイムで把握・分析	第2小委員会
はぐくみ - 将来にわたって「ひと」が育つまち -	教育 - 未来を担う子どもを育む質の高い教育 -	目指す姿	子どもの権利を守り、個性や多様性を認め、全ての子どもが主役となって学ぶことのできる環境が実現しています。	子どもの権利	第2小委員会
		政策の方向性	多様な子どもが共に学ぶことができる教室の整備と、全ての子どもが教育につながる制度の充実に取り組みます。	誰もが主役になれるまち 荒川	第2小委員会
				多様性	第2小委員会
				インクルーシブ	第2小委員会
		政策の方向性	子どもが主体的に知識を探索し、対話を通じて獲得した知識を組み合わせる行動する、豊かな学びが得られるカリキュラムを実現します。	一人ひとりの個性を認める教育	第2小委員会
				子ども一人ひとりに合わせる	第2小委員会
				個別最適	第2小委員会
		政策の方向性	子どもが主体的に知識を探索し、対話を通じて獲得した知識を組み合わせる行動する、豊かな学びが得られるカリキュラムを実現します。	多様性	第2小委員会
				一人ひとりの個性を認める教育	第2小委員会
				インクルーシブ	第2小委員会
はぐくみ - 将来にわたって「ひと」が育つまち -	若者 - 若者が活躍できるまちの実現 -	目指す姿	若者が地域社会に参加し、若者の声が形になり、生き生きと活躍できる環境が実現しています。	学校教育をより寛容にする	第2小委員会
		政策の方向性	課題を抱える若者に寄り添うため、切れ目のない相談・支援体制を拡充します。	学びの多様化	第2小委員会
				勉強の面白さを体験できる教育	第2小委員会
				働きたいまち荒川区	第2小委員会
		政策の方向性	若者の意見を施策へ反映し、若者の主体的なまちづくりへの関与を促進することで、地域への愛着や当事者意識を高め、地域と若者の関わりの好循環を生む体制を整えます。	ハートフルメッセージ	第2小委員会
				困ったことが言える環境づくり、相談できる人の確保	第2小委員会
				教職員が本来の職務に専念できる環境づくり	第2小委員会
		政策の方向性	若者が活動しやすく、様々な体験・経験ができる環境を整備することで、若者の活躍を後押しします。	若者の声が形になるまち	第2小委員会
				さまざまな体験、経験ができるまち	第2小委員会
				人生の始まり期を応援するまち	第2小委員会
はぐくみ - 将来にわたって「ひと」が育つまち -	生涯学習・スポーツ - 学びと健康を支える生涯学習・スポーツの推進 -	目指す姿	世代を問わず、誰もが学習やスポーツを通じて、学び続け、健康でいられるまちが実現しています。	社会的孤立	第2小委員会
		政策の方向性	多様な場所での活動の実施やそれらの周知・広報により、あらゆる世代の生涯学習・スポーツへの参加を促進します。	「わっか」の充実	第2小委員会
				若者の居場所	第2小委員会
				若者の声が形になるまち	第2小委員会
		政策の方向性	多様な施設で多様な体験ができ、相互作用が生まれるような場づくりを行います。	子ども・若者の思いが実現する大人の懐の深さがあるまち	第2小委員会
				若者の声がそのまま実現するまち	第2小委員会
				当事者意識を持った若者によるまちづくり	第2小委員会
		政策の方向性	年齢にかかわらず、何度でも学び直しができ、成長し続けられるような環境づくりを行います。	地域に若者が参加するまち	第2小委員会
				ハード面での環境整備（荒川区全体で運動できる場所や学習できる場所などを配置、やりたいことが見つかることを支援）	第2小委員会
				起業の支援・促進	第2小委員会
はぐくみ - 将来にわたって「ひと」が育つまち -	生涯学習・スポーツ - 学びと健康を支える生涯学習・スポーツの推進 -	目指す姿	世代を問わず、誰もが学習やスポーツを通じて、学び続け、健康でいられるまちが実現しています。	人がつながることで、自然と心も身体も整うまち	第2小委員会
		政策の方向性	多様な場所での活動の実施やそれらの周知・広報により、あらゆる世代の生涯学習・スポーツへの参加を促進します。	生活專線の中に生涯学習・スポーツが目に入るまち	第2小委員会
				情報が届かない人へのアプローチ	第2小委員会
				地域のサポーターの参加	第2小委員会
		政策の方向性	多様な施設で多様な体験ができ、相互作用が生まれるような場づくりを行います。	柔軟な場づくり	第2小委員会
				図書館の多様な活用・内容の充実	第2小委員会
				「何歳になっても」「誰でも」「何回でも学び直せる」	第2小委員会
		政策の方向性	年齢にかかわらず、何度でも学び直しができ、成長し続けられるような環境づくりを行います。	働く世代に届く学び直しの支援	第2小委員会

ささえあい - みんなが支え合い、生きがいをもって過ごせるまち -	健康 - 健康で安心して暮らせるまちの実現 -	目指す姿	互いに関心を向け合い、ケアし合うことができる、健康で安心して暮らせるまちが実現しています。	住んでいるとおのずと健康になる、気が付くと健康になる	第2小委員会
		政策の方向性	区民同士が交流し、互いをケアしあうことができる環境づくりに取り組めます。	ケアしあう おせっかい（ケア）がある 関心を向け合う	第2小委員会 第2小委員会 第2小委員会
				住んでいるとおのずと健康になる、気が付くと健康になる 誰もが健康になれるまち	第2小委員会 第2小委員会
		政策の方向性	本人が意識せずとも自然と健康になれるような環境のあるまちづくりを進めます。	区民同士のつながりがある	第2小委員会
				ケアしあう おせっかい（ケア）がある	第2小委員会 第2小委員会
		政策の方向性	健康維持に必要な身体をつくるため、幼少期から、適切な栄養の摂取と十分な運動ができる仕組み・環境を整えます。	骨格・脳・臓器が健康である	第2小委員会
				子ども時代から筋骨格を育てる 運動・コミュニティ・食を上手に生かす	第2小委員会 第2小委員会
	ささえあい - みんなが支え合い、生きがいをもって過ごせるまち -	目指す姿	高齢者と高齢者を支える人たちを地域全体で支援し、高齢者が安心して社会に参加できる、支え合いのまちが実現しています。	高齢者を支える人を支える、真心だけに頼らない、無理ではなく仕組みで支える	第2小委員会
				長寿社会の進展をポジティブに受け入れられる社会 高齢者人口の増加をデメリットとして捉えない 安心して歳を重ねられるまち 住み慣れた地域で、人とつながりながら最後まで暮らせる社会 支え合いで育むまち 互恵性がある	第2小委員会 第2回審議会 第2小委員会 第2小委員会 第2小委員会 第2小委員会
		政策の方向性	介護をする家族への支援や、高齢者を支える人たちを地域全体で支援する地域共助の仕組みを整備します。	高齢者を支える人を支える、真心だけに頼らない、無理ではなく仕組みで支える	第2小委員会
				認知症になった人もその家族も安心して暮らせる荒川区 介護・福祉人材が働きやすい荒川区 持続可能な介護社会 互恵性がある	第2小委員会 第2小委員会 第2小委員会 第2小委員会
		政策の方向性	当事者の意思を尊重し、高齢者が見守られるだけでなく、地域の一員として自立して生活を送ることができる環境を整備します。	認知症になってもその人らしく感情豊かに笑顔でいられる社会 安心して歳を重ねられるまち 積極的に高齢者が社会参画できる荒川区	第2小委員会 第2小委員会 第2小委員会
				生涯現役社会 積極的に高齢者が社会参画できる荒川区 歳を重ねるほど豊かになるまち	第2小委員会 第2小委員会 第2小委員会
	ささえあい - みんなが支え合い、生きがいをもって過ごせるまち -	目指す姿	あらゆるバリアフリーを目指し、誰もが尊重され、生きがいを持って社会参加できるまちが実現しています。	障がいのある方にも優しいバリアフリーなまちづくり 誰もが尊重されるまち 全ての人が生きがいを持ち、社会参加できるまち ユニバーサル	第2小委員会 第2小委員会 第2小委員会 第2小委員会
				障がいのある方にも優しいバリアフリーなまちづくり 障がいの有無にかかわらず共に生きていけるまち 誰もが尊重されるまち 誰もが尊重されるまち 全ての人が生きがいを持ち、社会参加できるまち ユニバーサル	第2小委員会 第2小委員会 第2小委員会 第2小委員会 第2小委員会
		政策の方向性	障がい者への支援の充実、障がい者への理解を促進するとともに、障がい者がそれぞれの得意分野を生かして支え合える、誰もが尊重され、共に暮らせる環境づくりを推進します。	住まいや仕事を安定させる 誰もが尊重されるまち 孤立しない、周囲の人と関わる できないことは互いに依存しあいつつ、自分でできることを増やす支援	第2小委員会 第2小委員会 第2小委員会 第2小委員会
				民生委員をはじめとする地域の各主体と連携・協力し、地域の福祉に関する基盤を充実させます。 誰もが尊重されるまち 孤立しない、周囲の人と関わる 民生委員の情報の公開と周知	第2小委員会 第2小委員会 第2小委員会

にぎわい - 人情・産業・文化が息づくにぎわいのまち -	文化・芸術 ・豊かな心を育む文化・芸術の推進 -	目指す姿	誰もが多様な文化や芸術、歴史、伝統に触れられる、心が潤い豊かな感情が生まれるまちが実現しています。	誰もが文化芸術に触れ関わるができるまち（無関心層を含めてどう広げていくか、障害の有無、年齢、経済状況に関わらず関われる）	第1小委員会
		政策の方向性	区民が多様な文化・芸術に触れ、豊かな感情や創造性を育むことのできる環境を整備します。	日常の中で文化芸術に触れ、関わるができるまち 誰もが文化芸術に触れ関わるができるまち（無関心層を含めてどう広げていくか、障害の有無、年齢、経済状況に関わらず関われる）	第1小委員会 第1小委員会
		政策の方向性	荒川区に根付いている伝統文化や芸術を、次世代へ継承していきます。	子どもたちが伝統・文化に関わるきっかけづくり	第1小委員会
		政策の方向性	多様な文化・芸術が交流し、荒川区を舞台に新たな魅力が創造されていく環境を整備します。	次世代への文化・芸術の継承	第1小委員会
				日本人の伝統（礼儀正しさ）の継承	第1小委員会
				荒川区の伝統的なお祭りの継承・発展	第1小委員会
				まちの価値そのものの底上げ	第1小委員会
にぎわい - 人情・産業・文化が息づくにぎわいのまち -	産業 - 活力ある区内産業の振興 -	目指す姿	社会の変化に柔軟に対応し、既存産業の強みを活かしつつ新たな産業が次々と生まれ、地域経済全体が持続的に発展する「活力ある産業のまち」が実現しています。	地域のアイデンティティの形成 地に足のついた多文化共生社会	第1小委員会 第1小委員会
		政策の方向性	地域を支えてきたものづくり産業等の既存産業とスタートアップ支援等による新たな産業創出を促進します。	社会の変化に応じた新たな産業が生まれ、これまで地域を支えてきた産業と融合して、魅力ある地域経済が育まれ活力のあるまち	第1小委員会
		政策の方向性	地域全体で産業を支え、活性化するため、次世代への技術継承と人材育成の強化に取り組みます。	荒川ブランドの創出及び認知の向上	第1小委員会
		政策の方向性	立地のポテンシャルの高さと既存産業の技術・魅力を活かした、荒川区ならではの産業を積極的に推進します。	これまでの産業と新たな産業の融合	第1小委員会
				経営者が地域を支え続けられる地域	第1小委員会
				次の世代が楽しみながら産業を引き継いでいる環境があるまち	第1小委員会
				荒川区での起業の魅力を向上させる	第1小委員会
にぎわい - 人情・産業・文化が息づくにぎわいのまち -	地域のにぎわい - にぎわいと魅力あふれる都市の形成 -	目指す姿	荒川区ならではの魅力が広く認知され、区内外から多くの人々が訪れ、交流を通じて新たな価値が生まれる、活気にあふれた観光のまちが実現しています。	立地ポテンシャルを活かした産業振興が実現しているまち	第1小委員会
		政策の方向性	荒川区を訪れる人を魅了する質の高い受け入れ体制を構築し、体験と消費を促す仕組みの構築に取り組みます。	世界に繋がる企業の誘致が出来ているまち	第1小委員会
		政策の方向性	荒川区固有の地域資源を最大限に活かし、ブランド価値を高めます。	上辺だけでない本物の魅力・地域のにぎわいを創り上げる	第1小委員会
		政策の方向性	区民と観光客が互いに共存する、持続可能な観光を推進します。	区内での消費の促進	第1小委員会
		政策の方向性	区民が地域の一員として地域に主体的に関わり、互いに支え合い、認め合う、温かい「つながり」に満ちたコミュニティが息づくまちが実現しています。	旅行者に来てもらい、消費してもらい、また来たいと思ってもらえるような取組	第1小委員会
				立地特性を生かした観光資源の実施	第1小委員会
				文化・芸術、既存産業と新産業を大切に地域魅力を持するまち	第1小委員会
にぎわい - 人情・産業・文化が息づくにぎわいのまち -	つながり ・多様な人々がつながり、地域を育むコミュニティの創造 -	目指す姿	区民が地域の一員として地域に主体的に関わり、互いに支え合い、認め合う、温かい「つながり」に満ちたコミュニティが息づくまちが実現しています。	住民中心	第1小委員会
		政策の方向性	多様な人々が参加し、新たな「つながり」を生み出すコミュニティ形成を促進します。	区民の生活を中心に据える	第1小委員会
		政策の方向性	地域に根差した活動を支援し、コミュニティの力をより高めます。	区民同士のつながりがある	第2小委員会
		政策の方向性	区民が自然と集い、活動し、互いを支え合う場の充実を図ります。	つながりの広がるまち	第2小委員会
				多様な文化に触れあえるまち	第2小委員会
				地域コミュニティが充実している	第2小委員会
				地域に根差したコミュニティが形成されている	第2小委員会
				コミュニティの希薄化	第2小委員会
				多様な世代の居場所が適材適所で確保されている	第2小委員会
				地域コミュニティの接点を増やす	第2小委員会
				コミュニティ施設の計画的な配置・整備	第2小委員会

やすらぎ - 安全安心で快適に暮らせるまち -	防災 ・災害から区民を守る対策の推進 -	目指す姿	地域防災力の向上と基盤整備が進み、様々な人々の命と暮らしが守られる災害に強いまちが実現しています。	木造密集地域の解消や耐震・耐火化、緊急車両が通行しやすい道路の整備	第1小委員会
		政策の方向性	老朽住宅の除却や耐震性・耐火性の高い建物への建替え、緊急車両が通行しやすい道路の整備、オープンスペースの確保等を進めることで、木造密集地域を解消し、不燃領域率を高め、災害に強い市街地を形成します。	防災意識の向上 木造密集地域を解消する。ただし、木造密集地域の文化的魅力を維持することも考慮し、耐震化・耐火化により災害に強い木造密集地域を打ち出すことも選択肢である。 不燃領域率を向上する。 緊急車両が通行可能で、延焼を防止する広い通路を増やす。	第1小委員会 第1小委員会 第1小委員会 第1小委員会
		政策の方向性	区民の防災意識の向上と地域コミュニティの活性化を図るとともに、多様な主体・領域と横断的に連携することにより、地域防災力の強化を推進します。	地域コミュニティを充実させ、お互いが顔見知りとなり、災害時にも助け合える関係にする。 タワーマンションの建設によるジェントリフィケーションと並行して住民が集まる理由が薄まるなかで、住民が集まることに新たな意義や目的を見出す。 区民の防災意識を向上する。 町会による町内でのイベントや防災訓練、火災入会を通じてコミュニティを維持する。	第1小委員会 第1小委員会 第1小委員会 第1小委員会
		政策の方向性	区内滞在者に対する適切な防災情報の提供をはじめ、あらゆる人の安全を守る取組を進めます。	区民以外の区内滞在者にも、一時滞在施設の場合など発災時に必要な情報について、適切に提供する。 町会・商店街・学校・福祉・行政の連携を、地区ごとに見える形で整理する地域ラジオを核に、区民が日常的に地域情報を受け取れる仕組みをつくる 防災情報だけでなく、教育、防犯、環境、地域活動も横断して発信する 情報と関係性の両方が循環することで、災害時に強い地域を育てる	第1小委員会 第1小委員会 第1小委員会 第1小委員会
		目指す姿	犯罪や交通事故が少なく、誰もが安心して暮らせる安全・安心なまちが実現しています。	若年層の犯罪被害・加害が減少している	第1小委員会
		政策の方向性	犯罪発生の抑制と区民が犯罪に不安を感じない地域社会を形成するため、区民同士のつながりと地域におけるルールの共有を進め、地域全体の見守り機能を向上させます。	誰もが安心して自転車で移動できる 孤立や情報弱者を生まない地域が形成されている 隣人の近さとの、地域に根ざした情報へのつながりが、荒川区の防犯力・生活安全力になっている	第1小委員会 第1小委員会 第1小委員会
		政策の方向性	若者や高齢者など多様な人々の特性に応じた情報発信と相談体制を整備し、防犯に関する情報弱者を生まない地域づくりを推進します。	『知らないかった』『判断できなかった』を減らすため、情報弱者を生まない発信体制を整える。 高齢者には音声や地域とのつながりで、若者にはSNSや動画で伝えよう、伝え方を世代ごとに変える	第1小委員会 第1小委員会 第1小委員会
		政策の方向性	自転車や新たなモビリティの交通環境の整備と事故防止に向けた啓発を一体的に進め、歩行者も運転者も安全・安心に移動できる環境を整えます。	街中の死角を減らし、キックボードなど新たなモビリティも考慮したまちづくりを進める。 町会・商店街・学校・福祉・行政が連携した地域見守りネットワークを強化する	第1小委員会 第1小委員会

やすらぎ ・安全安心で快適に暮らせるまち・	都市基盤 ・誰もが住みやすい都市環境の確保・	目指す姿	交通利便性が高く、にぎわいと防災性を兼ね備えた、快適で安全に暮らせる都市基盤が整ったまちが実現しています。	円滑な避難が可能であり、安全・安心かつ快適な道路環境が整備されている	第1小委員会
		政策の方向性	公共交通ネットワークの充実や新たな交通手法の活用など、子どもから高齢者まで移動しやすい都市環境を実現します。	交通利便性が賑わいが生れなりの移動できるまち」「災害リスクの高い地域や水害地域において、安全・安心な整備とソフト対策が講じられている 災害リスクの高い地域や水害地域において、安全・安心な整備とソフト対策が講じられている	第1小委員会 第1小委員会
				住民ニーズに応じた公共交通政策を展開する。	第1小委員会
				高齢者や高密度居住地区においても地域公共交通が十分に整備されている。」歩行者・自転車・車・新しいモビリティが共存できる、安全でわかりやすい道路空間を整える 自動運転の実用化も視野に入れ、対象を絞った対策や新たなモビリティサービス導入など、柔軟な対応をする	第1小委員会 第1小委員会 第1小委員会
		政策の方向性	再開発に合わせて区域内に適切な機能を設けることや、バリアフリー導線を強化することにより、誰もが楽しめるにぎわいのあるまちの形成に取り組めます	再開発の中には、住居だけでなく働く場所もつくる。」「空港や霞が関へのアクセスの良さを生かし、大企業本社を誘致する。	第1小委員会
		政策の方向性	道路や建築物の老朽化対策や長寿命化の実施により、防災機能が高く、安心して暮らせる都市基盤を整備します。	駅、生活道路、商店街、公共施設をつなぐバリアフリー動線を強化する	第1小委員会
				道路基盤について、健康面への影響や文化的な価値を重視し、基盤整備の基準を柔軟に変えるなど、メリハリをつけた整備を行う。	第1小委員会
				建物ストックの長寿命化を推進する。 防災機能を向上し、安心して暮らせる都市基盤を整備する	第1小委員会 第1小委員会
やすらぎ ・安全安心で快適に暮らせるまち・	住環境 ・安心して住み続けられる快適な住環境の整備・	目指す姿	充実したコミュニティとともに、様々な人々が安心して快適に暮らすことのできる住環境が実現しています。	コミュニティの希薄化	第1小委員会
		政策の方向性	様々な人々が地域で暮らし続けられるよう、住宅確保の支援とコミュニティへの参加を促す仕組みの充実に取り組みます。	地域全体でコミュニティが形成されている 高齢者やその家族が安心して住み続けられる住まいが確保されているまち ウェルビーイング 人のつながりが住みやすさにつながり、荒川区らしい、支え合いのある住環境ができています。	第1小委員会 第1小委員会 第1小委員会
				高齢者やその家族が安心して住み続けられる住まいが確保されているまち コミュニティの希薄化 地域全体でコミュニティが形成されている	第1小委員会 第1小委員会 第1小委員会
		政策の方向性	区民の高齢化とマンションの老朽化に対応するため、合意形成支援や改修・建替えの相談など、適切な支援を実施します。	区民の高齢化とマンションの老朽化という二つの古い マンションの老朽化対策が進んでいる 老朽マンションの安全対策が進んでいるまち	第1小委員会 第1小委員会 第1小委員会
		政策の方向性	子どもから高齢者まで多様な人々が集えるよう、公園やコミュニティ施設等の公共施設の適切な維持・整備を進めるとともに、様々な主体と協力しながら、自然保護や緑地の確保など、全ての人のにとって居心地の良い居住環境づくりに取り組めます。	多様な世代の居場所が適材適所で確保されている	第1小委員会
				あらゆる世代が集える場所 子どもの遊び場が適材適所に確保されている 公園の整備や、図書館の整備、コミュニティ施設の計画的な配置・整備を行う 人と自然、人と地域のつながりが深まり、荒川区らしい、やさしく心地よい環境が育っている	第1小委員会 第1小委員会 第1小委員会 第1小委員会
やすらぎ ・安全安心で快適に暮らせるまち・	環境・清掃 ・環境にやさしいまちづくりの推進・	目指す姿	区民や事業者が地球温暖化対策や資源循環に主体的に取り組む、環境にやさしい、持続可能なまちが実現しています。	区民や企業が無理なく取り組める形で、カーボンニュートラルの意識と行動が定着している	第1小委員会
		政策の方向性	区民や事業者がカーボンニュートラルの意義を理解し、再エネ利用や省エネ行動などの具体的な取組を進められるよう、支援と普及啓発を進めます	自然が守られている 人と自然、人と地域のつながりが深まり、荒川区らしい、やさしく心地よい環境が育っている	第1小委員会 第1小委員会
				分かりにくいテーマについては、『人の暮らしやすさ』という観点から伝えていく	第1小委員会
				区民や企業が無理なく取り組める形で、カーボンニュートラルの意識と行動が定着している	第1小委員会
				区民一人ひとりの意識と行動に定着させる 公園、広場、街路空間を、使いたくなる・立ち寄りたくなる場として整える	第1小委員会 第1小委員会
		政策の方向性	区民・事業者・区（行政）の密接な連携のもと、こみの削減や環境美化の推進など、区民一人ひとりが環境負荷の少ない暮らしを实践できるよう取り組めます	区民一人ひとりの意識と行動に定着させる。	第1小委員会
		政策の方向性	資源循環型社会の実現に向け、サーキュラーエコノミー（循環経済）の推進など、区民や事業者が一体となった資源循環への支援と啓発を進めます	こみを出しやすいようにする工夫も行う。	第1小委員会
				住民への周知を図るために、区職員の説明とPR、司会との協力を喚起する。	第1小委員会
				リチウムイオン電池の回収のルール等、国のルールを見ながら区民・行政・民間企業も対応していく。	第1小委員会
				サーキュラーエコノミー	第1小委員会

審議会・小委員会での意見対応表（区政運営方針）

（参考１）

区政運営方針	種別	素案の記載内容	審議会・小委員会でのご意見、キーワード	意見の出典
区政運営の方針１ 柔軟で機動的かつ実効性の高い、持続可能な行財政運営の推進	方向性	複雑化・多様化する行政課題に対応するため、政策形成や事業見直し等の際に、合理的根拠に基づく政策を立案するＥＢＰＭ（Evidence-Based Policy Making：エビデンスに基づく政策立案）の考え方を導入します。	区の目指す姿と現状がわかりやすく示されている状態	第２小委員会
			区民が行政の必要性を理解し協力している	第１小委員会
			ＥＢＰＭをキーワードとして盛り込んでいただきたい	第１小委員会
			区民のＱＯＬの向上	第１小委員会
	方向性	今後の人口動向や社会動向を見据えた中長期的な行財政運営戦略に基づき、選択と集中による効果的な資源配分を行います。	健全な財政状況が保たれている状態	第１小委員会 第２小委員会
			持続的な財政運営がなされている	第２小委員会
	方向性	職員が働きがいを感じ、働き続けたいと思える職場環境を整備し、人材を確保します。	全ての職員がやりがいをもって働いている状態	第１小委員会 第２小委員会
			職員が常に業務の見直しや区民サービスの向上に努めている状態	第１小委員会
			質の高い職員が確保され、一人ひとりの職員のパフォーマンスが最大化されている	第１小委員会
	方向性	業務の高度化・効率化、地域課題の解決に向け、ＡＩなどの先進技術を積極的に活用し、質と利便性の高い行政サービスの提供を行います。	未来あるＡＩのまちあらかわ	第２小委員会
			区民視点で行政サービスが向上している状態	第２小委員会
			区民から見てサービスがよりよくなっている状態	第２小委員会
区政運営の方針２ シティプロモーションの推進	方向性	住む・働く・学ぶ・訪れる場所として荒川区が多くの方から選ばれるよう、地域資源を最大限に生かした戦略的なシティプロモーションにより、区の認知度やブランドイメージを向上させます。	宣伝力の向上	第１小委員会
			デジタルツールを使いながら、区民が身近に感じられるような取組	第１小委員会
			住民満足度の向上、住民体験価値の向上、居住体験価値の向上	第２小委員会
	方向性	荒川区での暮らしに愛着と誇りを持てるよう、区民に対しても区の魅力を積極的に発信していきます。	子ども・若者が行政運営に関われる仕組みづくり	第２小委員会
			文化・芸術・既存産業と新産業を体制にして、地域の魅力を維持するまち	第１小委員会
			若者の声が形になるまち	第２小委員会
区政運営の方針３ 各政策・施策の実現を加速化させる協働・共創の推進	方向性	区の強みである地域コミュニティを活かし、区民や町会等と様々な場面で協働し、ともに地域課題の解決に取組んでいきます。	多様な議論の場づくり	第２小委員会
			行政に関わりたい人が、関われる行政	第２小委員会
			区民同士のつながりがある	第２小委員会
			地域全体でコミュニティが形成されている	第１小委員会
	方向性	大学や民間事業者、民間団体等の専門人材と積極的に連携し、様々な社会課題への対応体制を強化します。	行政・民間・区民のタテ・ヨコ・ナナメの支援	第２小委員会
			住民の理解・協力	第１小委員会
区政運営の方針４ 人権・平和・多様性の尊重	方向性	全ての人が差別を受けることなく、他者の人権を深く理解し、尊重し合う人権意識が広く行き渡ったまちを目指します。	守られ、保証されるまち	第２小委員会
			人と理解をしあう、知り合う	第２小委員会
			多文化共生	第２小委員会
	方向性	個性や違いを認め、理解しあい、共生できる寛容なまちを目指します。	相互理解の促進	第２小委員会
			人と理解をしあう、知り合う	第２小委員会
			伝統とダイバーシティをみんなで考えるまち	第２小委員会
			多文化共生	第２小委員会
			外国人人口の増加をデメリットとして捉えない	第２回審議会
	方向性	平和な社会の実現と、平和を願う心を次世代へつないでいきます。	-	